

平成 30 年 7 月豪雨により被災した被保険者等の皆さまへ

平成 30 年 7 月豪雨で被災された皆さま方に心からお見舞い申し上げます。

当組合では、被災された被保険者等の皆さまについて、医療機関窓口での一部負担金の支払いの免除の取り扱いを行っているところですが、このたび期間を令和元年 12 月 31 日まで引き続き延長いたしますのでお知らせいたします。

記

医療機関等での一部負担金等の支払いの**免除**について

1. 特例措置の対象者

平成 30 年 7 月豪雨に係る災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）の適用市町村のうち、下の表に住所を有する当組合の被保険者又は被扶養者（災害発生以降、適用市町村から他の市町村に転入した者も含む。）の方で、次の（1）から（3）のいずれかに該当する被保険者又は被扶養者

- （1）住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をした方
- （2）主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負った方
- （3）主たる生計維持者の行方が不明な方

都道府県名	地域名
岡山県	倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町、新見市
愛媛県	今治市、宇和島市、大洲市、八幡浜市、西予市、松野町、鬼北町
広島県	坂町

2. 特例措置

受診の際に、被保険者証と当組合が発行する「**健康保険一部負担金等免除証明書**」を提示することによって医療機関等の窓口で一部負担金等を支払わずに、医療機関等で受診することができます。（入院時の食事、生活療養の自己負担は支払が必要です。）「健康保険一部負担金等免除証明書」の発行については事前に当組合へ免除申請（[申請書は次頁](#)）を申請してください。その際、免除対象者であることを証明する書類（罹災証明書の写し）等が必要です。

(別紙様式1)

一部負担金等 免除 申請書

被保険者証記号番号						
被保険者	氏名		生年月日		性別	
	住所					
免除を希望する対象者	氏名		生年月日		性別	
	住所					
減免等を申請する理由						
7月豪雨により						
1 住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をしたため						
2 主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負ったため						
3 主たる生計維持者の行方が不明なため						
※該当する番号に○を付けてください。						

上記のとおり申請いたします。

令和 年 月 日

外国運輸金融健康保険組合理事長 殿

申請者 (被保険者又は被扶養者)

住 所 (居所)

氏 名

㊞

※申請する際はこの様式に次の書類を添付して申請してください。

- 1 住家の全半壊、全半焼、床上浸水又はこれに準ずる被災をした方
・罹災証明書・被災証明書の写し
- 2 主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負った方
・罹災証明書・被災証明書の写し
・罹災証明書・被災証明書にその旨の記載がない場合は死亡診断書
・罹災により1ヵ月以上の治療を要すると認められる旨を記載した医師の診断書等の写し
- 3 主たる生計維持者の行方が不明な方
・罹災証明書・被災証明書の写し
・警察等に行方不明者に係る届出をしていることが確認できるもの